日本文化の体験や地域のまち歩きを取り入れたアフターコンベンションの取り組みの推進

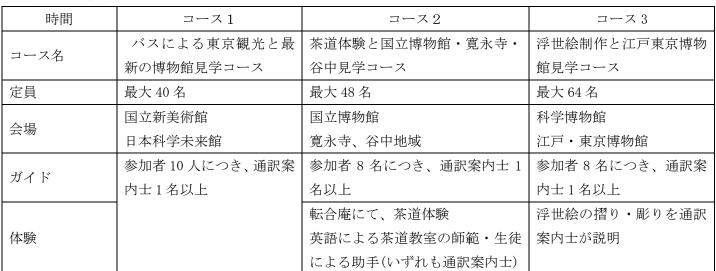
モデル事業の構築

MICE は、(M) Meeting、(I) Incentive、(C) Convention、(E) Exhibition は、今後のインバウンドの期待される分野。これまでツアーコースのほか、小グループによるまち歩き、日本文化の体験などを組み合わせたアフターコンベンションプログラムを開発していくことにより、通訳案内士の活動の場の拡大を提案する。以下は、当交流塾の実施例である。

(事例 1) ICOM-ASPAC 日本会議 2009 エクスカーション

- (1) 主催 国立科学博物館、実施 NPO 日本文化体験交流塾
- (2) 実施日時 2010年12月9日(水)13時~17時 エクスカーション参加者20カ国 130名余 従事した通訳案内士 24名



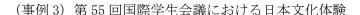


(事例2) 八方園におけるエクシビション

- (1) 2009年11月17日(火) 19時~22時 参加者200名
- (2) ホールでのエクシビション
- ①和紙づくり、風呂敷包み、折り紙、お花の実演、
- (3) ステージ・ショー
- ①日本舞踊、②琴の演奏 ③三味線の演奏
- (4) パーティ通訳

4 カ国語、14 人通訳案内士が着物で接遇

(5) これを機会に、琴、三味線の演奏、風呂敷包みのパーフォーマンスなど を有料で実施



- (1) 日本人 40 名、外国人 40 名 (20 国程度) 計 80 名程度
- (2) 浴衣着付け、「男らしく見える仕草」「美しい女性の立ち居・振る舞い」 剣舞 通訳案内士が着付け指導、仕草指導



